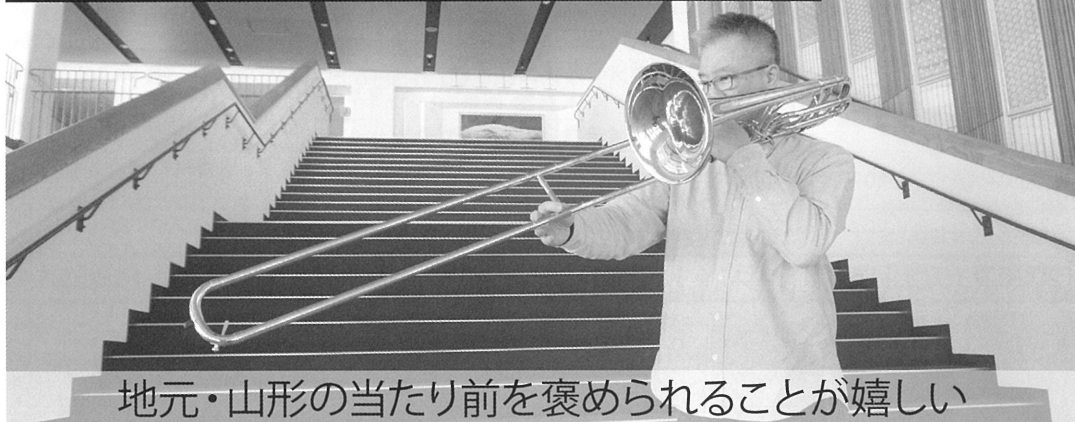


バス・トロンボーン 高橋 智広 Tomohiro Takahashi vol.39



地元・山形の当たり前を褒められることが嬉しい

♪楽器を始めたきっかけは？

中学の吹奏楽部を何となく見学に行き、沢山の楽器を見せてもらって面白そうだな…と思い入部したら、「トロンボーンの人数足りないのやってね」と言われて始めました。

♪オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは？

楽器を始めてすぐにオーケストラへ関心が移り、山響定期や他のオケも時々聴きに行くようになり、将来プレイヤーになれたら良いな…と漠然と考えつつ勉強し始めました。幸運にも大学一年から年に数回山響にエキストラで使ってもらい、その経験がプレイヤーの道を更に意識するきっかけになりました。

♪山形でお気に入りのもの、場所は？

地元なので全部当たり前に映ります…他の土地から山響に入って来た同僚達やゲストの方々の方が山形を褒めて下さるのが嬉しいです。

♪好きな作曲家・曲は？

不自然さを感じさせなければ、どんなジャンルのどの作曲家の作品でも。

♪トロンボーン(バス・トロンボーン)の魅力は何ですか？

低弦やファゴットがつくった響きを録取る役目をして土台の一部になること・ハーモニーをつくる時に

核となる音を吹くことが多いこと・打楽器と一緒にあって全体の流れにアクセントを与えること、に魅力を感じます。

♪好きなトロンボーン奏者は？

バス・トロンボーンで特に影響を受けているのは、モントリオール交響楽団のピエール・ボードリーさんとNHK交響楽団の黒金寛行さん。

そして、ニューヨーク・メトロポリタンオペラ管弦楽団のスティヴ・ノレルさん。1991年、山形県とアメリカ・コロラド州の姉妹県州締結50周年記念事業として山響が学園都市ボルダーで開かれていた音楽祭の祝祭オーケストラに1公演加えてもらった時、祝祭オケの常連として参加されていたノレルさんに奏法を一から叩き直され、おかげで今こうやって吹いています。

♪使用している楽器について教えてください。

ヴィンセント・バック社製の50BG(写真の楽器)と50T3G、それと楽団所有のスイス・エッガー社製クラシカルF管バス・トロンボーン。三本とも、マウスピースは甲府市にあるマウスピース工房willie'sのラインナップから選んで使っています。

♪最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

山響はいつも大きな力に支えられていると感じています。更に頑張りますので、これからもどうぞ宜しくお願い致します。